

(様式第 5 号)

## 市民協働推進モデル事業報告書

実施団体	代表実施団体	一般社団法人 岡山に夜間中学校をつくる会 (担当者 那須 啓文 )			
	合同実施団体 (* 協議体・実行委員会等で実施した場合、構成団体をすべて記載してください。)	(担当者 )			
岡山市の担当課等	課名	岡山市教育委員会事務局 学校教育部指導課		電話	086-803-1592
		担当者	職名	室長補佐	職名
	氏名		永井 正博	氏名	赤井 敦史
	課名	岡山市教育委員会事務局 生涯学習部生涯学習課		電話	086-803-1606
		担当者	職名	課長代理	
	氏名		田中 光彦		
事業の名称	「学ぶことは生きること」義務教育学び直しサポート事業				
達成した定性的効果と定量的効果 ※アンケートなどあれば添付してください。	<p>①夜間中学校に関するニーズ調査</p> <p>■アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市教委からは 3,650 枚、団体からは 10,429 枚、計 14,079 枚配布し、810 名 (5.8%) からの回答を得た。</li><li>・「夜間中学のことを知らせたいと思う人が周りにいるか。または自分が学んでみたいか」の質問には、「身近にいる」が 103 人、「思いつく人がいる」が 100 人、「自分が学んでみたい」が 143 人、合計回答数は 346 であった。</li><li>・「その人に知らせたい、またはあなたが学びたい理由」では、「中学校を卒業していない」が 32 人、「卒業したが学び直したい／学び直してほしい」が 198 人、「外国人で知識や技能を学びたい／学んでほしい」が 78 人であった。うち、「自分が学んでみたい理由」は、「卒業したが学び直したい／学び直してほしい」が 113 人 (79.0%) であった。</li><li>・「学びたい人／学んでほしい人の年齢」については、60 代以上が 80 人 (26.1%) と最も高かったが、10 代から 50 代もそれぞれ 15~20%程度であり、いずれの年代にも分布している。</li><li>・「夜間中学に期待すること」では、「就労・生活のため」が 306 人 (37.8%)、「中学校程度の学力習得」の 305 人 (37.7%) が最も多かったが、「読み書きの習得」「中学校教育の修了」が続いている。</li></ul> <p>本アンケート調査では、スーパーマーケット・コンビニ・病院・薬局・公民館・識字教室など、学び直しを必要とする人々が利用する可能性の高い場所に設置できたことも、高い回収率につなげることができた。</p> <p>■ヒアリング調査</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自主夜間中学の生徒 41 名、アンケート調査回答者 10 名の計 51 名に対し、ヒアリング調査を行った。うち、アンケート回答者の 2 名が自主夜間中学に通うこととなった。ヒアリング内容から見える共通点としては、中学校レベルの学び直しを期待する声が多く、教科としては英語、数学 (算数)、読み書き (外国人の場合、日本語) が多かった。また、公立夜間中学校</li></ul>				

	<p>の設置を期待する声も多かった。</p> <p>②講師力向上のための研修</p> <p>■スキルアップ研修</p> <p>様々な事情を抱えた生徒と関わる岡山自主夜間中学のスタッフのスキルアップを目的とした、以下4つの研修が実施できた。</p> <p>・導きチームづくり研修</p> <p>参加者コメント：「普段の授業日は、生徒とはある程度コミュニケーションは取れているが、スタッフ同士は、準備・授業・片付けに追われほとんど話をする事がなかった。今回の研修で、スタッフとなった個々の動機を初めて聞くことができ、お互いをより深く知ることができた。研修を通してつながりができ、授業に関する依頼なども気軽にできるようになり、会の運営にもよい影響を及ぼしていると思う。」</p> <p>上記のコメントから、研修を通してスタッフ間の人間関係が作れ、会の運営にも非常に役立っていることが分かる。</p> <p>・「外国語としての日本語指導」指導者養成研修</p> <p>参加者コメント：「岡山自主夜間中学にはいろいろな国籍の生徒が通っていて、日本語のレベルにも差があり、個人のレベルに合わせた指導が求められます。多い時には10人くらい来られて、日本語担当スタッフだけでは対応できないこともありました。研修によって、今まで日本語を教えたことがなくても日本語指導の基礎が分かり、いろいろな方法で指導できそうだという自信をもつことができました。」</p> <p>増加しつつある外国籍生徒への日本語指導は喫緊の課題であり、対応できるスタッフを増やす必要性に迫られていたため、4回に渡って実施された研修を通して、対応できるスタッフを増やすことができたことが、最大の成果である。</p> <p>・発達障害の生徒への対応に関する研修</p> <p>参加者コメント：「発達障害と言っても、特性の異なるいくつかの種類に分類されること、そしてそれらの原因・特徴・困難を知ることで、学習の現場に現れてくる問題を具体的にイメージできるようになった。」</p> <p>夜間中学に通う生徒の中には、何らかの発達障害を抱えていることもあるため、スタッフとして生徒を理解した上での対応方法は喫緊の課題でもあったため、非常に有意義な研修となった。</p> <p>・奈良市立春日中学校 夜間学級への合流参加による研修</p> <p>参加者コメント：「中学校レベルの学習内容が日本人生徒にとっても外国人生徒にとっても難しく、授業の進め方を工夫する必要があると感じた。外国人の日本語初級者を中学生レベルの日本語力まで引き上げるのは簡単ではない。」</p> <p>実際の公立夜間中学校の授業を参観することで、どのように授業が進められているのか、生徒達はどの程度理解できているのか、また外国籍生徒へはどのような日本語の配慮をしているかなど、実際に見ることで分かったことも多々あり、岡山で公立化を目指すうえで非常に参考となった。</p>
<p>市と協働した内容と協働の効果</p>	<p>1. 団体が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズ調査のためのアンケート用紙作成</li> <li>・アンケート用紙の設置：スーパーマーケット等の店舗、病院、薬局、フリースクール、識字教室、国際交流センター、工業団地事務所棟等に計10,429枚</li> <li>・ヒアリング調査：アンケート回答者810名のうち51名に対して実施</li> <li>・講師スタッフのスキル向上を目指した研修の実施</li> </ul> <p>2. 岡山市の担当課が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導課・生涯学習課が岡山自主夜間中学を視察し、状況を把握</li> <li>・アンケート用紙の設置：公民館、図書館、福祉交流プラザ、福祉事務所、ふれあいセンター等の公共施設に計3,650枚</li> <li>・ニーズ調査実施および進捗状況についてのアドバイスやコメント</li> <li>・研修実施に向け、協働課からのアドバイスやコメント</li> <li>・スタッフ研修の一環として、岡山市立小学校での公開授業参観の段取り</li> </ul>

	<p>3. 協働した効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート用紙作成段階での意見交換により質問項目の精査ができた。</li> <li>・設置場所について、市と団体とで分担できたため、より広範囲への設置が可能となった。</li> <li>・ヒアリング項目等について、協議を重ね意見を出し合うことができ、潜在的ニーズを掘り起こすことにつながった。</li> </ul>
<p>事業の内容</p> <p>※事業内容が具体的にわかる資料を添付してください。(チラシ、報告書、写真等)</p>	<p>①夜間中学校に関するニーズ調査</p> <p>■アンケート調査</p> <p>6月8日～8月31日の期間で、市内各所に返信葉書付きのアンケート用紙を設置した。</p> <p>※資料1「ニーズ調査ポスター」</p> <p>※資料2「アンケート用紙」</p> <p>■ヒアリング調査</p> <p>7月13日～10月31日の期間で、回答者51人に対しヒアリング調査を実施した。</p> <p>※資料3「ヒアリング項目」</p> <p>②講師力向上のための研修</p> <p>■導きチームづくり研修</p> <p>普段スタッフ間の交流を持つ機会を持つことが難しいため、スタッフ同士がお互いを理解して、これからの展望について語り合うための研修を実施した。</p> <p>【講師】原明子</p> <p>【日時】2019年6月22日(土)</p> <p>【参加人数】29名</p> <p>■岡山市立小学校での公開授業参観</p> <p>岡山市立大野小学校での教職員対象の5年生国語の公開授業を本会スタッフが参観した。</p> <p>【日時】2019年9月24日(火)</p> <p>【参加人数】3名</p> <p>■「外国語としての日本語指導」指導者養成研修</p> <p>岡山自主夜間中学においても増加しつつある外国籍生徒への日本語指導に対応するため、外部講師を招き、4回にわたり基礎的な指導の方法や注意点について研修を実施した。</p> <p>【講師】岡山大学 八尾ゆう子</p> <p>【日時・内容・参加人数】</p> <p>第1回目 2019年9月21日(土) 18:30～20:30「日本語指導と国語指導の本質的な違い それぞれのメリットとデメリット」(参加人数22名)</p> <p>第2回目 2019年10月21日(土) 18:30～20:30「私たちが使っている日本語を分かりやすい日本語にする方法」(参加人数13名)</p> <p>第3回目 2019年11月2日(土) 18:30～20:30「日本語の発音と50音図」(参加人数11名)</p> <p>第4回目 2019年11月16日(土) 18:30～20:30「教材の作り方」(参加人数13名)</p> <p>■発達障害の生徒への対応に関する研修</p> <p>発達障害の種類と特性の現れ方、また視覚障害など特性に応じた指導方法についての研修を実施した。</p> <p>【講師】自閉症スペクトラム支援士 清水 久仁子</p> <p>【日時】2019年12月21日(土)</p> <p>【参加人数】14名</p> <p>■奈良市立春日中学校 夜間学級への合流参加による研修</p> <p>公立夜間中学校設立を目指すうえで、実際の授業の様子を知っておくため、授業参観および生徒との交流のため、春日中学校を訪問した。</p> <p>授業は、日本人生徒中心クラスと、ネパール人を中心とするクラス・中国人クラスの外国人ク</p>

	ラスに分かれて授業を進めていた。 <b>【日時】</b> 2020年1月17日（金） <b>【参加人数】</b> 6名	
事業実施経過	6月8日 アンケート調査開始（～8月31日まで） 6月22日 岡山自主夜間中学の生徒対象に公立夜間中学の説明およびアンケート調査実施 6月22日 〈研修〉導きチームづくり研修 7月13日 ヒアリング調査開始（～10月31日まで） 8月31日 アンケート用紙回収期間終了 9月21日 〈研修〉「外国語としての日本語指導」指導者養成研修① 9月24日 岡山市立大野小学校公開授業参観 10月2日 平成31年度岡山市市民協働推進モデル事業 中間評価表完成 10月21日 〈研修〉「外国語としての日本語指導」指導者養成研修② 10月31日 ヒアリング調査終了 11月2日 〈研修〉「外国語としての日本語指導」指導者養成研修③ 11月16日 〈研修〉「外国語としての日本語指導」指導者養成研修④ 12月21日 〈研修〉発達障害の生徒への対応に関する研修 1月17日 〈研修〉奈良市立春日中学校 夜間学級への合流参加による研修 1月27日 夜間中学に関するニーズ調査 報告書完成	
実施のうえで連携した団体とその内容	名称	内容
	岡山に公立夜間中学を求める市民の会	アンケート調査用紙設置
	奈良市立春日中学校夜間学級	授業への合流参加研修機会の提供
	岡山県理容生活衛生同業組合	アンケート調査用紙設置の協力
翌年度以後の予定	<input type="checkbox"/> 次年度に一般施策 <input type="checkbox"/> 市民協働推進モデル事業として事業を継続し、次々年度に一般施策 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度に提案団体の自主事業 <input type="checkbox"/> 市民協働推進モデル事業として事業を継続し、次々年度の自主事業 <input type="checkbox"/> その他（ ） 具体的な計画があれば記載してください。	